

**「総合評価方式入札におけるCO2削減提案」
 実例をもとにしたCPDSセミナーを開催いたします。
 公共土木工事におけるCO2削減の創意工夫セミナー**

総合評価落札方式の入札でCO2削減の取組みを加点対象にするケースは徐々に増えてきました。

例えば、国土交通省近畿地方整備局が2007年度の加点対象にした入札は62件。評価点に占める重みはまだ大きくありませんが、他の発注者にも導入が広がる可能性はあります。

同省中国地方整備局発注の浜田・三隅道路折居地区改良工事での総合評価のように、89.4点の加算点のうち最大で15点をCO2削減の技術提案に与えるという案件も出てきています。

今回は、CO2削減の技術提案事例で多数利用されているソフトメーカーの担当者を山梨県に招き、関東でもそろそろ発注が予想されます「CO2排出量削減に関する創意工夫」の評価項目対象をテーマに事例をご紹介します。

事例紹介

総合建設業のニシノ建設管理(甲斐市竜王、西野健二社長)は、二酸化炭素(CO2)削減対策を講じた下水工事を行っている。同社が販売する土木工事のCO2排出量算定ソフトウェア「カットCO2リカバリー」を使い、総排出量を1万2000キログラムと算出。このうち約6割を占めるショベル系掘削機「バックホウ」の排出削減に重点を置いて省エネ運転を実施、全体で6%を削減する計画だ。県によると、CO2削減対策を講じた土木工事は県内で初めて。

工事は、甲斐市が発注した同市西八幡の公共下水道工事で、工期は6月26日から10月30日。

同社は削減対策として、(1)エコモード搭載のバックホウを採用(2)全関係者を対象にした省エネ運転マニュアルの事前教育(3)CO2削減担当者を選び、現場代理人と2重チェック体制を取る一ことなどを実施している。

工事現場には「温暖化対策実施中」と明記した看板を設置し、削減目標や現在の削減量を明示。バックホウやトラックにアイドリング禁止のステッカーを張り、作業員の意識向上も図っている。

国土交通省によると、国発注公共工事の一部では、CO2削減対策を入札参加資格や総合評価方式の評価項目に導入している。山梨県技術管理室によると、県発注公共工事では取り入れていず、今後の導入は未定という。

同社は「建設業は社会資本整備の一翼を担う一方、環境に影響を及ぼす産業。地球規模で環境変化が進む中、官民一体になった取り組みが必要だ」とし、入札参加資格や総合評価の評価項目への削減対策導入を求めている。



CO2の削減目標や現在の削減量を記した立て看板と、エコモードで稼働している掘削機＝甲斐市西八幡

日時:平成20年12月16日(火曜日) 午後 14:00~16:00
 会場:山梨県中小企業人材開発センター F2 定員:50名程度
 住所:甲府市大津町2130-2 会場に関するお問い合わせ TEL 055-243-4916
 備考:講習会の受付に関するお問い合わせは
 TEL:055-276-0112 ニシノ建設管理:西野、田中まで

参加費(1人当り):2,000円(社団法人山梨県建設業協会会員は1,000円)

参加者名をご記入頂いて
 FAXをお送りください!!

FAX番号 055-276-0174

| | | | |
|---|-------------------|---|---|
| 受講申込 ※FAX番号は 受講票 をお送りするのに必要です。必ずご記載ください。 | 御社名 | | |
| | 電話番号 | - | - |
| | FAX番号 | - | - |
| CPDS認定講習(2ユニット) | ご参加者名 () () () | | |

※受講申込期限は12月5日迄とさせていただきます。なお、会社名、受講者名の記載のない方はお断りいたします。また先着50名様のため、定員確定しだい締切とさせていただきます。